

# 会 議 録

## 1 会議名

第2回大潟区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

（1）平成30年度地域活動支援事業（大潟区）提案事業のプレゼンテーションについて

（2）平成30年度地域活動支援事業（大潟区）提案事業の審査について

・その他（公開）

## 3 開催日時

平成30年5月31日（木）午後6時から午後9時20分まで

## 4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 2階 大会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：石田浩二、梅木英亮、金沢幸彦、君波豊、小山茂、佐藤忠治、佐藤博之、内藤恒、中嶋浩、西田耕一、細井義久、柳澤周治、山田幸作、山本宏（16名中14名出席）

・事務局：鍵田大潟区総合事務所長、佐々木次長（総務・地域振興グループ長兼務）、平山市民生活・福祉グループ長、石川教育・文化グループ長、朝日総務・地域振興グループ班長、水澤総務・地域振興グループ主任

## 8 発言の内容（要旨）

### 【佐々木次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の

出席を確認、会議の成立を報告。

【佐藤忠治会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：細井義久委員に依頼

【佐藤忠治会長】

それでは、協議事項（１）平成３０年度大潟区地域活動支援事業大潟区提案事業のプレゼンテーションに入る。プレゼンテーションの方法について事務局から説明する。

【朝日班長】

資料１により説明。

各団体につき、１０分間の時間を設けている。５分間がプレゼンテーション、残り５分が質疑の時間となる。４分が経過した時点で「残り１分」と知らせる。９番目が終了した時点で１０分間の休憩を取る。スムーズに進行できるよう協力願いたい。

資料２により説明。

５番の共通審査の採点までが本日の作業となる。採点表はプレゼンの１０分間の間で記入していただきたい。前回の勉強会で質問のあった、大潟町中学校後援会の提案の「大潟町中学校吹奏楽部の演奏支援事業」がすでに３回提案されているのではないかという指摘であるが、改めて確認したところ平成２４年度、平成２５年度の２回であった。今回が３回目の提案である。また、卓球台、楽器の関係は地域活動支援事業を活用するのではなく、本来であれば市の予算で購入するべきではないかという指摘をいただいた。自治・地域振興課の方で今後どうするか検討するということであり、現在は各地域協議会の判断によるということである。

【佐藤忠治会長】

プレゼンテーションに入る前に、本日の地域協議会について、その他の部分があるため９時２０分頃までかかる予定であることをご了承願いたい。

【朝日班長】

基本審査票について No. １～No. ９については休憩に入る前に回収させていただく。No. １０～No. １３については、各事業につき２分間の審査をしているときに回収する。採点表についてはお帰りの際に机の上においてお帰りいただきたい。後日、事務局で集計し報告する。

【佐藤忠治会長】

では、プレゼンテーションを始める。提案事業No. 1「マリンドリームズやちほ」から提案された「バスケットボールを通じての地域活性及び青少年の健全育成事業」についてプレゼンテーションをお願いする。

【マリンドリームズやちほ】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質疑を求める。

【君波豊副会長】

もともとは八千浦中学校のバスケットボールが盛んであったためにできたチームではないか。現在、八千浦が盛んではないということであれば、拠点を大潟に移す気はないか。直近の会計報告書が添付されていないが、添付することになっているはずである。平成29年度の実績がわかれば教えていただきたい。

【マリンドリームズやちほ】

拠点を移せないかという質問に対してだが、現在は八千浦小学校で練習を行っており、考えていない。体育館の使用料については減免となっており費用はかかっている。支出については大会参加費及びコーチ等の弁当代、備品購入費に充てている。

【小山茂委員】

会則は1ページだけか。

【マリンドリームズやちほ】

そうである。

【小山茂委員】

会則によると、近隣の小学校についてもクラブの会則に賛同、協力することを条件に入会を許可するとなっているがそうなのか。

【マリンドリームズやちほ】

会則が古いものである。

【小山茂委員】

では、新しい会則は添付されていないのか。

【マリンドリームズやちほ】

古いまま使っている。

【小山茂委員】

この会則のままであるということか。文言についてもこのままということを確認したかった。

【佐藤忠治会長】

よろしいか。他にないか。

【石田浩二委員】

地域貢献活動に力を入れるということで、大潟区の体育施設を使うときに清掃等をするということであるが、具体的には大潟区の施設を使うことはあるのか。

【マリンドリームズやちほ】

八千浦小学校の体育館が使えないときに、大潟体育センターが空いていれば利用する。今年度は体験会を計画しており、その時に利用したいと考えている。

【内藤恒委員】

今までは、八千浦地区の申請のみということであるが、今後はどう考えているか。

【マリンドリームズやちほ】

採択されるようであれば、今後も地域に貢献し申請していきたい。

【佐藤忠治会長】

大潟区では同一事業について申請は3回までである。

【マリンドリームズやちほ】

了解した。

【佐藤忠治会長】

以上で「バスケットボールを通じての地域活性及び青少年の健全育成事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業 No.2「大潟の子どもを育てる会」から提案された「子ども体験事業」のプレゼンテーションをお願いする。

【大潟の子どもを育てる会】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

私から質問である。大潟水と森公園で毎年お茶会を行っている団体がある。ぜひ、子ども達にお茶の作法を体験させたいがそういった機会はないか。

【大潟の子どもを育てる会】

今回、抹茶体験ということで入っている。今回ばかりではなく来年度も考えている。意見を聞きながら何を取り入れるか考えていきたい。

【内藤恒委員】

1日でこれだけの体験をするのは大変だと考えるが、講座によって人数が少なくても開講するのか。

【大潟の子どもを育てる会】

事前申し込みの必要な講座と不要（参加自由）の講座があり、当日声かけをして参加者を募りたい。

【佐藤忠治会長】

頸北地区でこのような事業を行っているところはあるか。

【大潟の子どもを育てる会】

頸北ではないが、有田地区で行っている。直江津東中学校の生徒を講師として実施している。あれは素晴らしいと感じた。今回の事業で中学生は参加しないが、今後は参加してほしいと考えている。また、板倉区の豊原小学校等で行っている。過去に大潟町小学校でも行っていたが、現在は行っていない。他に比べ大潟区ではこういった機会が少ないのではないかと感じている。

【佐藤忠治会長】

ほかに質問はないか。なければ「子ども体験事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業 No.3 「大潟の子どもを育てる会」から提案された「大潟読書普及活動事業」のプレゼンテーションをお願いする。

【大潟の子どもを育てる会】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質疑を求める。

【山本宏委員】

今回購入予定の本棚はどこに設置する予定か。

【大潟の子どもを育てる会】

現在大潟コミュニティプラザの1階に5台設置しているが、新たに2台増やす予定である。

【佐藤忠治会長】

ほかにないか。

【君波豊副会長】

子ども達が本棚の周りにはいる光景を見かけないが、その辺りほどのように把握しているか。頸城区の希望館の図書館にもよく行くが、そこにも子ども達の姿があまりない。子ども達に読書をさせるという趣旨には賛成であるが、チェックをして子ども達が本棚の周りに群がるような環境作りをしてほしい。

【大潟の子どもを育てる会】

本棚は区内各所に設置しており、メインとなるのが大潟コミュニティプラザに設置している本棚である。小中学校にも同じように設置している。子ども達に利用してほしいということはもちろんであるが、まずは区民の皆さんから本を手にしていただき、家庭で読む機会を増やして、そこから子ども達が本を読む機会が増えることを狙っている。

【中嶋浩委員】

趣旨には同感である。公民館等との連携が必要なのではないか。

【大潟の子どもを育てる会】

上越市では「みんなの本だな」という事業があったがその事業は撤退している。とても良い事業であったので大潟の子どもを育てる会が引き継ぐということでやっている。地区にも図書室があるためお互いに協調しながら行っていきたい。

【佐藤忠治会長】

ほかに質問がなければ「大潟読書普及活動事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業 No.4「まちづくり大潟」から提案された「おおがた紹介マップ作成事業」のプレゼンテーションをお願いする。

【まちづくり大潟】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質問はないか。

(発言なし)

なければ「おおがた紹介マップ作成事業」のプレゼンテーションを終了する。

提案事業 No.5 「まちづくり大潟」から提案された「親子で人形劇を見て『心を育む』事業」のプレゼンテーションを引き続きお願いする。

【まちづくり大潟】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

人形劇の事業について質問はないか。

【内藤恒委員】

すでに保育園等に周知をしているのか。

【まちづくり大潟】

6月4日から各保育園に整理券を配布する。また、区内の保育園に通園していない子どももいるので6月1日号の広報で周知する。

【佐藤忠治会長】

この事業は今年だけか。

【まちづくり大潟】

今回の結果を見て、考えながら実施していく予定である。

【君波豊副会長】

上越文化会館のアウトリーチ事業を活用し実施するのもよいのではないか。こういった良い事業は長く続けていただきたい。

【佐藤忠治会長】

ほかに質問はないか。

(発言なし)

【佐藤忠治会長】

無いようなので「親子で人形劇を見て『心を育む』事業」のプレゼンテーションを終了する。

提案事業 No.6 「まちづくり大潟」から提案された「全国ため池百選『朝日池』を PR

する事業」のプレゼンテーションを引き続きお願いする。

【まちづくり大潟】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質問はないか。

(発言なし)

【佐藤忠治会長】

ないようなので「全国ため池百選『朝日池』をPRする事業」のプレゼンテーションを終了する。

提案事業 No.7「火防地蔵尊保存会」から提案された「火防地蔵尊とその伝説を後世に伝え防火意識の普及啓発を行う事業」のプレゼンテーションをお願いする。

【火防地蔵尊保存会】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質問はないか。

【内藤恒委員】

今回が3回目の提案で修繕が完了となるが、今後の維持管理についてはどう考えているか。

【火防地蔵尊保存会】

その点については大変苦勞している。火防地蔵尊保存会と地蔵町の方で管理しているが高齢化している。若い人も何人かいるので補修などをしてきた。そのとおりに行く予定である。ただ、若い人にやっている姿を見せるということが今後継続していくうえで必要ではないかと考えている。

【内藤恒委員】

地元の消防団にも協力を願った方がよいのではないか。

【火防地蔵尊保存会】

消防団も団員を集めるのに苦勞しているのであまり負担をかけるのもどうかと考える。自分たちでやっていけるうちは今の体制で行っていく。

【佐藤忠治会長】

御堂の鍵はかけているか。

【火防地蔵尊保存会】

かけていない。

【佐藤忠治会長】

なぜかけないのか。泥棒が入るのではないか。

【火防地蔵尊保存会】

賽銭泥棒には何回か入られた。今は賽銭箱を床に固定した。鍵は昔からの錠前であり、今のところ私しか開けられない。

【佐藤忠治会長】

なぜ鍵をかけないのか。

【火防地蔵尊保存会】

誰でも入って見ていただけるようにしている。今は前の扉だけは猫が入るので閉めている。天気の良い日に開けるようにしている。

【君波豊副会長】

今回の大修繕で耐震性は加味しているのか。

【火防地蔵尊保存会】

大きな建物でないため考えていなかったが、かなりしっかりしている。

【佐藤忠治会長】

「火防地蔵尊とその伝説を後世に伝え防火意識の普及啓発を行う事業」のプレゼンテーションを終了する。

提案事業 No.8 「九戸浜町内会」から提案された「九戸浜のお宝発掘事業」のプレゼンテーションをお願いします。

【九戸浜町内会】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質問はないか。私から1つ質問である。九戸浜関係の本というと旧大潟町の佐藤忠治収入役が書いた本があるがそれについてはどう考えているか。

【九戸浜町内会】

その佐藤氏は私の伯父にあたる。本も持っている。本は読み物として文章が中心となっている。その本、大潟町史、上越市史などを要約し、見やすいものとしていきたい。

【佐藤忠治会長】

他にないか。

【君波豊副会長】

2ケ年計画で100万円ほどの予算を考えているということであるが、本年度は調査費ということか。

【九戸浜町内会】

そうである。

【君波豊副会長】

次年度は町内会の予算で行うということか。それとも、次年度も地域活動支援事業を活用するのか。

【九戸浜町内会】

来年度も地域活動支援事業を活用していきたいと考えている。

【佐藤忠治会長】

町内会としては新しい企画であると考えますが、来年度は自己財源として町内会の予算からの支出を考えているか。

【九戸浜町内会】

今のところは想定していないが、町内会費で半分負担し、残り半分を地域活動支援事業を活用するというのも可能なのか。

【佐藤忠治会長】

可能である。本来は、自分たちでは全額負担できないので、補助金を活用するということである。

【九戸浜町内会】

地域活動支援事業に対する理解が不十分であった。町内会では、住民が年々減少している中で、前年同様の通常事業を執行していくには、あまり高額な予算建てをするのはなかなか難しいというのが現状である。来年度も地域活動支援事業に提案したいと考えている。

【内藤恒委員】

2ヶ年計画で完成後は有償配布ということか。

【九戸浜町内会】

現在、世帯数が400戸弱であり、できれば無償で配布していきたい。

【佐藤忠治会長】

では、これで「九戸浜のお宝発掘事業」のプレゼンテーションを終了する。

提案事業 No.9 「えほんのひろば」から提案された「電車で Go・Go・Go!!おおがたっ子号でえほんを楽しもう事業」のプレゼンテーションをお願いします。

【えほんのひろば】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質問はないか。

【君波豊副会長】

手元の資料では平成31年度も実施予定となっていて、申請の上限3回を使うということは理解できる。その後も持続してもらいたい。また、言いづらいことではあるが、提案書は残るものであるため丁寧に書いていただきたい。

【えほんのひろば】

提案書については、提出がぎりぎりになってしまい書き直す時間がなく、見苦しくなったことをお詫びする。事業について継続したい考えはあるが、費用が去年の倍になり、今後参加者の負担増になるため検討しているところである。

【佐藤忠治会長】

他に質問がなければ「電車で Go・Go・Go!!おおがたっ子号でえほんを楽しもう事業」のプレゼンテーションを終了する。

今までの提案について審査票の記入は終わったか。事務局で回収する。これより休憩に入る。

【朝日班長】

審査票を提出後、休憩に入っていたきたい。再開時刻は19時55分である。

(休憩)

【佐藤忠治会長】

では、再開する。提案事業 No.10「大潟町中学校後援会」から提案された「地域における大潟町中学校吹奏楽部の演奏支援事業」のプレゼンテーションを始める。

【大潟町中学校後援会】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質疑を求める。

【柳澤周治委員】

平成28年度の決算書で、楽器積立金の予算額10万円から決算額108万円に増えた理由を伺いたい。楽器購入費は大きな額になると考えるが、後援会費は一般区民から集めているため計画的な積立を行ってほしいと感じるが後援会の考え方はどうか。部活動の備品購入は教育予算で行ってほしいと考えるが、現在の市の予算ではなかなか充当できない現状は理解できる。後援会からも予算獲得のための要望を出すべきではないか。

【大潟町中学校後援会】

楽器積立の金額が増えたという点であるが、他の支出が抑えられたため楽器積立に回したものである。楽器積立金が現在180万円ほどあり、地域活動支援事業と合わせて今回は3回目の提案であるため、ある程度揃えていきたいと考えている。楽器の修理額が高額になるため、今後も計画的に積立を行っていく。

【柳澤周治委員】

教育予算の方はどう考えているか。

【大潟町中学校後援会】

備品については、学校長から教育委員会に要求しているが、一度も予算が付いたことがないため、後援会で対応していることをご理解いただきたい。

【柳澤周治委員】

必要な教育予算の拡充については、後援会としても年度ごとに要望していただきたい。それを、後援会費を集めている区民の目にわかるようにして頂きたい。

【大潟町中学校後援会】

了解した。

**【佐藤忠治会長】**

では、最後に中嶋委員。

**【中嶋浩委員】**

吹奏楽部の年間のスケジュールが示されているが、子どもの負担増になるのではないか。働き方改革が言われているが、教職員の負担はどうか。

**【大潟町中学校後援会】**

まず、子ども達の負担増についてだが、現在の吹奏楽部員は実力があり、明後日から始まるかっぱ祭りの練習は、昨日今日の2日間で十分である。新しい曲も楽譜があれば1、2回の練習で本番ができる。先日の「大潟音楽会」も通常の部活動の時間帯で行っており負担増とはならないと考える。働き方改革の方については、土日2日間のうちどちらか1日は休みとしている。実際に11月までのスケジュールは決まっており、休みを取り、残った日でできることをするという事になっている。

**【佐藤忠治会長】**

ほかにないか。

**【君波豊副会長】**

楽器積立金からは修理代は出さないということで良いか。平成28年度の決算書では支出0円となっている。平成28年度の約150万円は平成29年度に繰り越されて、平成29年度の後援会費から100万円ほど追加され、250万円ほどの積立金となったということで理解してよいか。

**【大潟町中学校後援会】**

そうである。

**【君波豊副会長】**

平成24年度、25年度頃の資料を調べたが、50万円ほどの積立であった。おそらく楽器を購入し、修理代がかかるということで100万円の積立をしたと考える。そうすると後援会費の半分ほどが楽器積立金に回されていることになり、他の部活には補助が潤沢にいつているのか。

**【大潟町中学校後援会】**

他の部活で使わなければ、楽器積立に行く。使っていればなかなか楽器積立には回らない。年によって大会等で非常に良い成績であると費用を使う。使わない部分が楽器積

立に回るということでご理解いただきたい。

【君波豊副会長】

了解した。

【佐藤忠治会長】

では、これで「地域における大潟町中学校吹奏楽部の演奏支援事業」のプレゼンテーションを終了する。

提案事業 No.1 1 「上越市防災士会大潟支部」から提案された「大潟地区自主防災支援事業」のプレゼンテーションをお願いします。

【上越市防災士会大潟支部】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質問、意見等はないか。

【柳澤周治委員】

各町内会に防災士がいると思うが、この防災士会の参加率はどれくらいか。

【上越市防災士会大潟支部】

自主防災組織の訓練を行う時ということか。

【柳澤周治委員】

そうではない。例えば土底浜町内会には3名いるが防災士会に所属をしている率ということである。100%所属しているのか。

【上越市防災士会大潟支部】

入っていない防災士もいる。もともと、防災士の養成は市と町内会が補助金を出し進めている。そういった防災士は防災士会に加入している。比率でいうと90%ぐらいである。

【柳澤周治委員】

9割の防災士が団体に入っているということか。了解した。

【佐藤忠治会長】

ほかにないか。なければ「大潟地区自主防災支援事業」のプレゼンテーションを終了する。

提案事業 No.1 2 「おおがたスポーツクラブ」から提案された「生涯スポーツ活動振

興事業」のプレゼンテーションをお願いします。

【おおがたスポーツクラブ】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質問はないか。

【君波豊副会長】

防球ネットであるが、資料を見ると、卓球台1台につき周りを囲っているがこういった配置をしているか。

【おおがたスポーツクラブ】

大潟卓球大会については12台で試合をしており、真ん中を区切る形で使用している。今の防球ネットは長いものであり、今回購入予定のものはもう少し小さいものである。

【君波豊副会長】

上越市役所の隣の総合体育館で行う卓球の試合を見に行くが、こういった配置では大会を行っていない。やはり真ん中を仕切るという形で使用している。この資料のように周りを囲ってしまえば、大潟体育センターは狭く12台も置けないのではないか。災害時に使用するならば、市の予算で備え付けてもらうのが本来ではないか。市と相談しているか。

【おおがたスポーツクラブ】

卓球のためのフェンスとして使用するために購入したい。災害時にはこういった使い方もできるということであり、特に市とは相談していない。ただ、災害時にはプライバシーの保護等で活用ができるのでスポーツクラブにとっても、市にとってもよいのではないかと考えている。

【佐藤忠治会長】

今までの防球フェンスは古くて使えないということか。

【おおがたスポーツクラブ】

滑車が古く床に傷がつく。現在の防球ネットは修繕しながら使用している。重量もあり使いにくい。今回台車で運べるようになると、シニア卓球教室の受講生も扱いやすくなるのではないか。

【佐藤忠治会長】

では、今回購入するとなると今までのものは使用しなくなるということか。

【おおがたスポーツクラブ】

また市の担当者と相談する。

【佐藤忠治会長】

今回これだけの台数を購入すれば、古いフェンスは使わなくなるということでよいか。

【おおがたスポーツクラブ】

そうなるであろう。ただ、卓球のフェンスとしては使用しなくても、例えば屋内でサッカーなどをするときなどは、今回購入するものでは強度が不足するのではないかと考えるので、現在あるものを利用できるのではないか。

【小山茂委員】

防球フェンスであるが、災害時にも使えるものではなく一般的なものでもよいのではないか。

【おおがたスポーツクラブ】

そうである。ただ、災害時にも利用できるほうがよいのではないかと考えた。

【佐藤忠治会長】

ほかに無ければ「生涯スポーツ活動振興事業」のプレゼンテーションを終了する。

提案事業 No. 13 「大潟町小学校後援会」から提案された「地域における屋外行事等ならびに大潟町小学校課外体育部等の大会出場への支援事業」のプレゼンテーションをお願いします。

【大潟町小学校後援会】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質問はないか。

【小山茂委員】

天幕の名入力で、文字数が増えたところのみを後援会で負担するということか。

【大潟町小学校後援会】

そうである。6文字2張で見積もりをしてしまったので増える分は後援会で負担する。

【佐藤忠治会長】

ほかに無ければ「地域における屋外行事等ならびに大潟町小学校課外体育部等の大会出場への支援事業」のプレゼンテーションを終了する。

【佐藤忠治会長】

採点表を記入していただきたい。結果は後日事務局から報告する。

【佐々木次長】

基本審査の結果、10番目から13番目の事業もすべて適合となったことを報告する。

【朝日班長】

審査時間として1事業当たり2分設けていたが予想外にスムーズに運んだ。採点表については帰りの際に回収させていただく。終了までは訂正の時間があるので慎重な審査をしていただきたい。

【佐藤忠治会長】

では、全事業終了した。最後に回収する。

【佐々木次長】

すべての事業の審査を終了した。結果については次回の地域協議会で報告する。

【佐藤忠治会長】

本日の採点結果を踏まえて、次回協議会において点数の高いものから事業採択及び補助額決定について協議する。協議の結果、不採択となるもの、補助額が減額となる場合もある。地域活動支援事業についての協議は終了する。

その他に移る。5月24日に地域協議会で協議してきた「大潟区の魅力発見・発信」について、まちづくり大潟に事業の依頼をしてきた。まちづくり大潟からは会長と事務局長、地域協議会からは会長、副会長が出席し、総合事務所からは所長、次長、事務局が同席した。平成28年度から自主的審議事項として協議してきた「大潟区の魅力発見・発信」について、地域協議会の総意をもってまちづくり大潟に依頼したい旨を伝えた。大潟区の地域振興のため引き受けていただきたいと伝えた。実施期間としては平成30年度から事業完了までとなる。まちづくり大潟からは役員会で協議し、事業を受ける方向で検討していくとの返答である。質問として、この事業の目的を明確にしてほしいということであった。また、歴史資産、自然等の資料を集めてきたが、それを冊子化することはまだ地域協議会ではっきりしていないのではっきりさせてほしいとのこと

である。冊子の制作に関しては、今回の追加募集の提案にいれなくて映像化だけにしてほしい、とのまちづくり大潟の依頼である。追加募集の提案書を作成するにあたって、事務局から業者への見積り依頼について説明する。

【佐々木次長】

資料により説明

【佐藤忠治会長】

今の説明について質問はないか。

【柳澤周治委員】

参考見積りとはどういった位置付けか。4社から取るというのはどういうことか。

【佐々木次長】

以前1社から参考見積りを取ったが、1社だけであると会社の特性が偏ってしまうため依頼した。仕様については最初の見積り業者のものを参考にした。この金額でどの程度できるか、会社からプレゼンテーションを受ける等の参考としていただきたい。

【柳澤周治委員】

以前報告にあった、専門にやっていると言っていた牧田さん、フジノさんはどうなったのか。

【佐藤忠治会長】

多忙のため断られた。

【柳澤周治委員】

それは了解した。4社に絞った基準はあるか。

【佐々木次長】

前回6社示したが検討した結果、4社に絞った。

【柳澤周治委員】

6社に対して打診したのか。その結果4社を選んだのか。

【佐々木次長】

打診はしていないが、事業内容などの情報を聞く中で4社にした。

【鍵田所長】

もっと広い視野も持って多くの業者を募っていくという考えもあるであろう。それは今後、皆さんで検討していただきたい。

【佐藤忠治会長】

今後、検討会で決めていくということでよいか。

【佐藤忠治会長】

他に委員からの連絡はないか。6月2日、3日とかつぱ祭りがある。地域協議会からは君波委員と山本委員が参加する。

事務局から、「(仮称) 上越市体操アリーナ新設工事等の工事請負契約の締結」について連絡である。

【石川G長】

資料により説明

【佐藤忠治会長】

今の説明について、質問は無いか。

(一同無し)

では、次回の地域協議会について事務局から連絡する。

【佐々木次長】

第3回大潟区地域協議会は6月14日(木)午後6時30分より開催する。

【佐藤忠治会長】

よろしいか。事務局から資料(まちづくり市民大学の公開講座等)の説明をする。

【朝日班長】

配付資料の説明

【佐藤忠治会長】

予定していた議題はすべて終了した。

【君波副会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL: 025-534-2111 (内線 201、216)

E-mail: ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。